



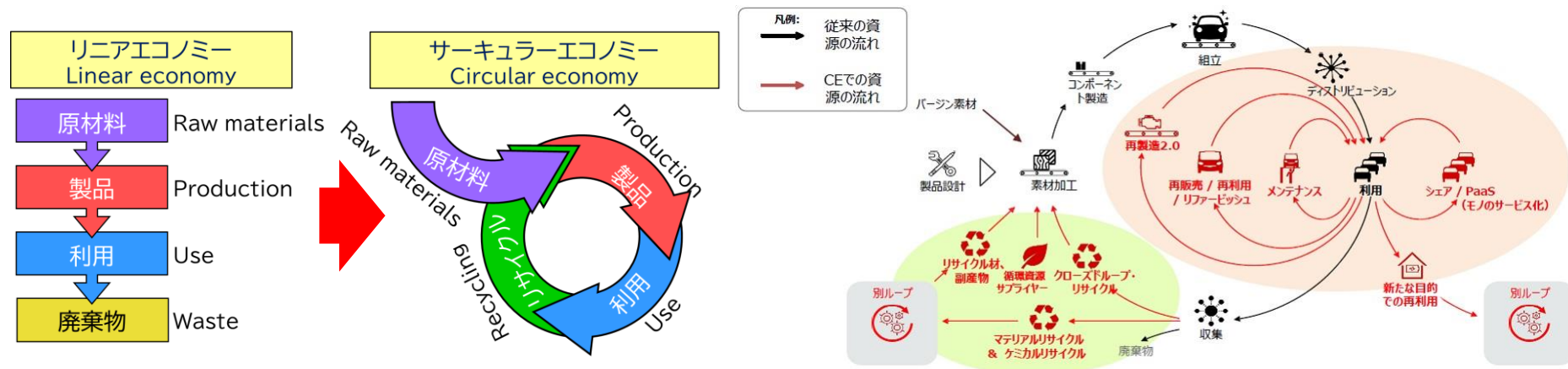
富山県のサーキュラーエコノミー推進の 取組みについて

令和7年11月25日（火）

富山県商工労働部 成長産業推進室商工企画課
川野優希

1. サーキュラーエコノミー

持続可能な形で資源を効率的・循環的に有効利用する経済システム



3R（リデュース・リユース・リサイクル） ⇒ 3R+ **ビジネス**

目的

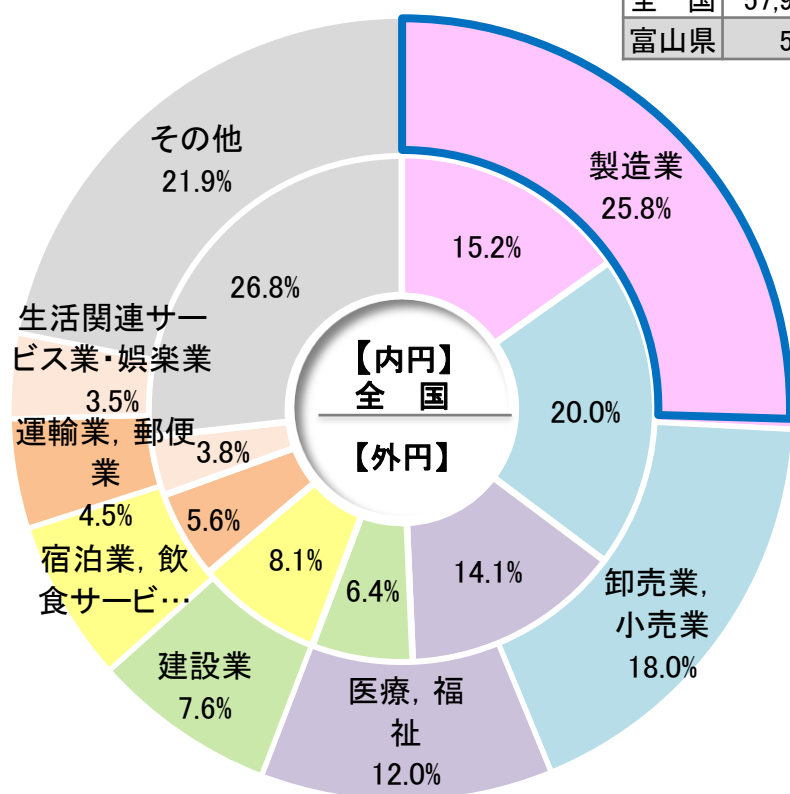
製品の再利用、リサイクルなど資源の循環を取り入れた経済である
**サーキュラーエコノミー（CE）の推進により、産業競争力を強化し、
本県産業の持続的成長を目指す**

2. 日本海側屈指の工業集積

産業分類別の従業者数と付加価値額の状況

従業者数の構成比

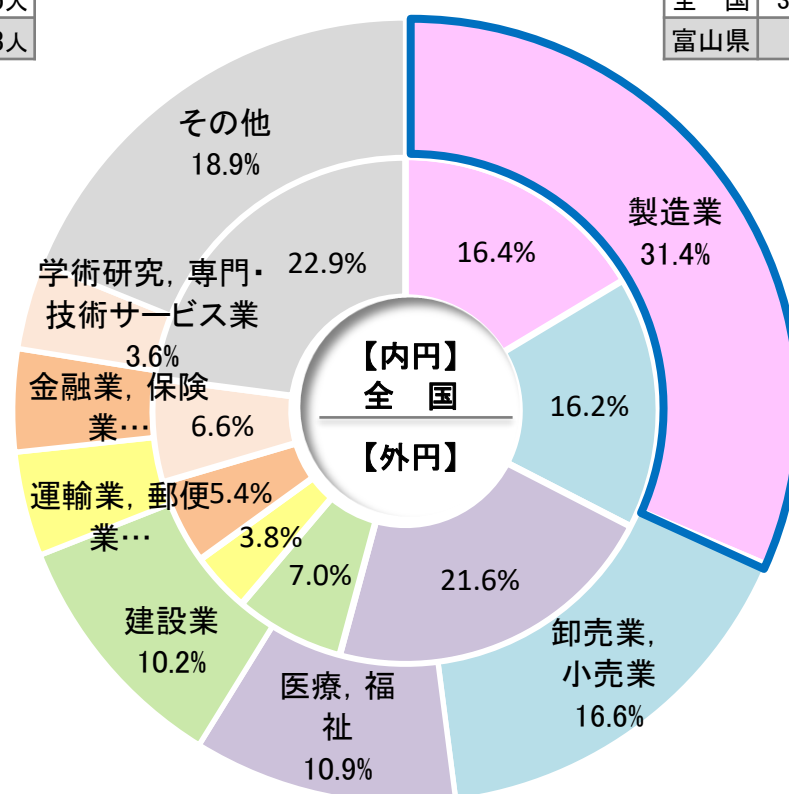
全 国	57,949,915人
富山県	508,283人



(出典) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

付加価値額の構成比

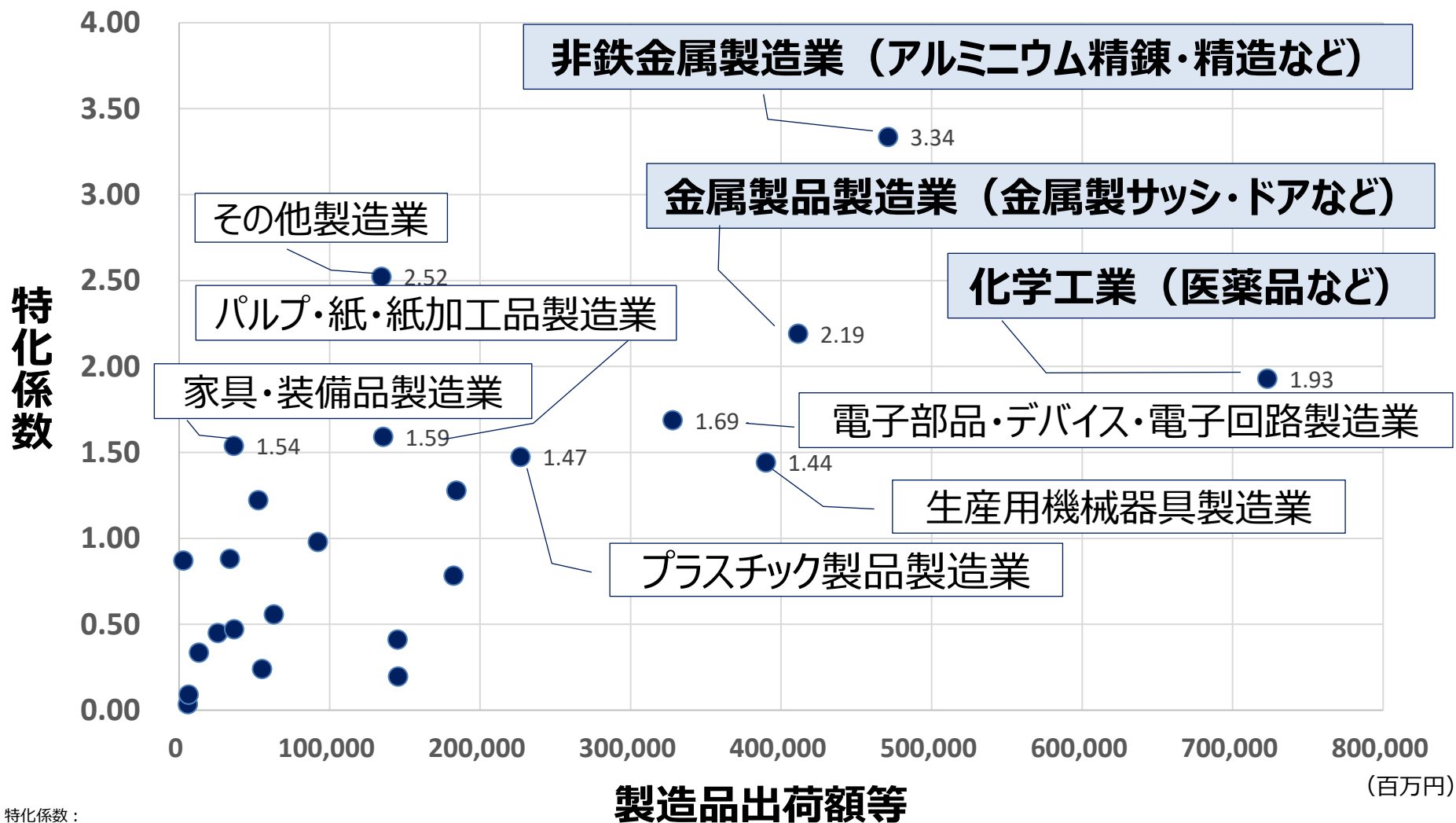
全 国	3,362,595億円
富山県	22,337億円



(出典) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

2. 富山県の基幹産業について

富山県製造業の業種別製造品出荷額と特化係数



特化係数：

富山県の製造業製造品出荷額等の合計に占めるA産業製造品出荷額の割合
 全国の製造業製造品出荷額等の合計に占めるA産業製造品出荷額の割合

(出典) 2022年経済構造実態調査 製造業事業所調査（地域別統計表データ）

3. アルミ産業の集積と発展

直径100km圏内にアルミ産業に関連する企業が多く立地しており、
全国一のアルミ産地を形成



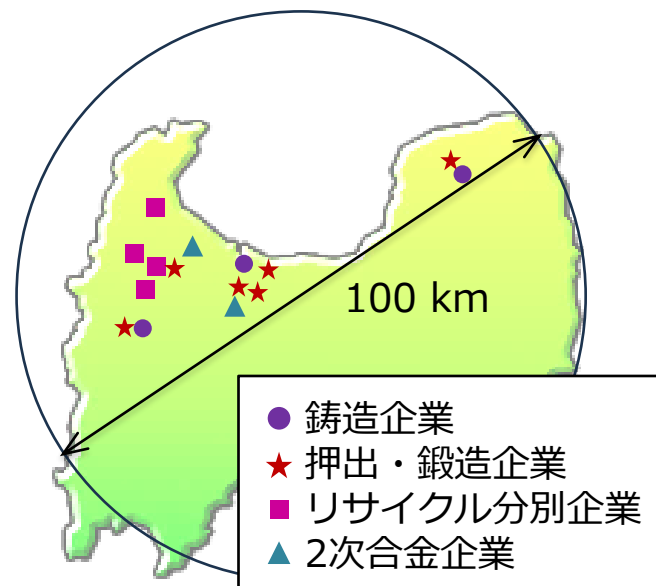
アルミホイール



アルミサッシ



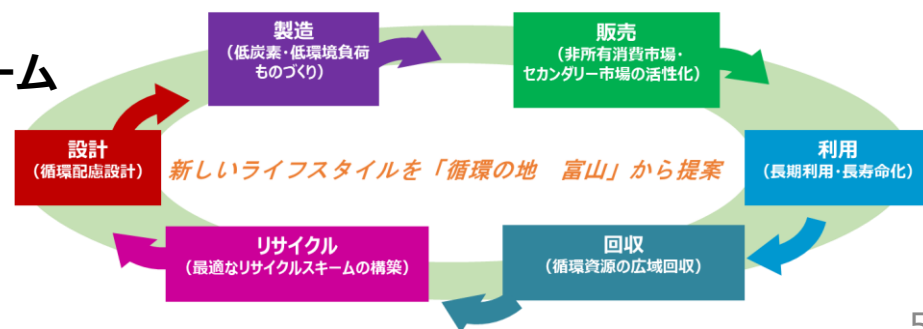
アルミスクラップ



○とやまアルミコンソーシアム (平成30年6月設立)

アルミの「脱炭素・リサイクル」に向けた取組み

- ・アルミバリューチェーン連携強化事業
小規模な企業間連携DXプラットフォーム
- ・アルミ循環配慮事業
サーキュラーエコノミーへの移行を
実現する技術開発を支援



3. とやまアルミコンソーシアムの取組②

○第21回LCA日本フォーラム表彰（令和7年1月）

経済産業省 脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞 を受賞



選評（一部抜粋）：

- 地域の地場産業を伸ばす取り組みで、大企業でなくても**中小企業が協力し取り組んでいる**ほか、地元の行政や大学、研究機関も協力して算定に取り組めることを示す好事例である。
- 地域の活性化、**中小企業間の連携、実測データに基づく共通データベースの共有、CFP算定解析ツールを策定評価、ライフサイクル思考等**、取組内容が素晴らしい。大学も巻き込み、行政が主体となった活動の網羅性と力強さが魅力である。

3. 富山県のサーキュラーエコノミーへの取組

令和5年3月 経済産業省が「成長志向型の資源自律経済戦略」を策定

令和6年3月 産官学の連携を促進するためのパートナーシップ
「サーキュラーパートナーズ CPs」を設立



○令和6年3月 富山県ものづくり成長未来戦略を改定

○令和6年6月 「サーキュラーパートナーズ CPs」に富山県として参画

令和6年12月 循環経済への移行加速化パッケージを閣議決定

○令和7年3月 富山県サーキュラーエコノミー推進ロードマップを策定

○令和7年6月 富山県サーキュラーエコノミー推進プラットフォームを設置

3. 富山県サーキュラーエコノミー推進ロードマップ

①全国に先駆けた先行事例の創出

アルミを重点分野に設定し、全国に先駆けた先行事例の創出

課題	取組みの方向性	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	～2030年 度 (R12)	2030年目 標
地域での ビジネス モデルの 創出、事 業化の推 進	全国に先 駆けた先 行事例創 出	アルミ分野でのCEビジネスモデルの創出					アルミ産業で のCEに関す るプロジェク ト(取組み) 数：10件/年 他の産業分野 への取組み拡 大
		【バリューチェーン連携強化】 小規模な企業間連携の推進					
		【DX】 企業間連携による DXプラットフォームの推進					
		【技術開発】 循環配慮設計、選別・リサイクル技術の高度化					
		【人材育成】 県内外学生向けのアルミインターンシップ 社会人対象の技術セミナー等					
		【事業化へ向けた取組み】 展示会への出展、連携企業の掘り起こし					
		【関係機関との連携】 CE推進に取り組む企業、高等教育機関、国・県内自治体 支援機関等の連携推進					

3. 富山県サーキュラーエコノミー推進ロードマップ

③動静脈連携の推進

動静脈連携の一層推進

課題	取組みの方向性	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	～2030年 度 (R12)	2030年目 標
外部環境 変化によるビジネス 転換	動静脈連 携の推進 (技術開 発・ビジ ネス創 出・資源 循環推 進)	新需要拡大に向けた環境配慮設計や再生材の品質確保などの技術開発／人材育成					CE技術に関する企業向け セミナー等の 参加者数 2,000名以上 (累計)
		・ 資源循環に資する新製品・新技術の研究開発支援 ・ アドバイザーによる技術的支援					
		・ CEにおけるライフサイクルの各フェーズ（設計、製造、リサイクルなど）に対応する研究会の設置 ・ 国際標準化機構や規制等の動向、需要拡大が見込まれる再生材における技術や研究成果を共有する企業向けのセミナーや研修の開催					廃プラスチック類の最終処 分率 29%以下
		地域資源循環の推進					
		排出事業者・リサイクル業者の実態調査					
・ 廃プラスチック類等の排出事業者・リサイクル業者・製造業者のマッチングによる循環利用促進 ・ リサイクル製品の認定、展示会等でのPR、公共分野での優先利用等							
セミナーの開催		CE普及啓発イベント開催等によるCEに対する理解促進や意識醸成（再掲）					

3. 富山県サーキュラーエコノミー推進プラットフォーム

- ・ 商工労働部 成長産業推進室
- ・ 富山県産業技術研究開発センター
- ・ 富山県総合デザインセンター

- ・ 環境政策課
- ・ カーボンニュートラル推進課

富山県サーキュラーエコノミー推進 プラットフォーム



公益財団法人
富山県新世紀産業機構
Toyama New Industry
Organization

- ・ ワンストップ相談窓口
- ・ CEセミナー、研究会の開催
- ・ 技術開発の補助金等の紹介 など

①BACCAIng

異業種連携による廃材を
活用したアップサイクル
創出プロジェクト

②グリーン分野研究会

資源循環、再エネ等に関
する技術セミナーや県外
企業視察に開催

③アルミコンソーシアム

産学官によるアルミリサ
イクルの技術開発、CO2
排出量の見える化

県内
自治体

県内企業

大学



Circular Partners
サーキュラーパートナーズ
(経済産業省・環境省)

3. サーキュラーエコノミー関連事業の紹介

OBACCAIng (ばっかいんぐ)

県内ものづくり産業におけるサーキュラーエコノミーの推進に向けた普及啓発やクリエイティブ人材を活用した異業種連携の推進



廃材の紹介 (株式会社トヨックス)



現場視察 (株式会社トヨックス)



廃材の紹介 (株式会社リッチェル)



廃材の利活用を検討する創造会議

4. 今後の展望



富山をサーキュラーエコノミーの先進県へ
サーキュラーエコノミー推進の先導モデルとして貢献